

ガバナ-月信

vol.06 2024.12



芸術の秋。長岡 RC 会員らが出品した作品展を訪れた南雲ガバナー（11 月、長岡市）

月信12月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 第 1 回米山記念奨学委員長セミナー
- ③ 2024-25 年度地区大会
- ④ 三条東 RC ポリオプラス募金活動
- ⑤ 「楽しいいききドライブ」同行記
- ⑥ ガバナー公式訪問報告
- ⑦ 地区ラーニング委員会
- ⑧ 財団委員会通信
- ⑨ 地区主要行事予定(12 月・1 月)
- ⑩ 新入会員紹介・訃報
- ⑪ コーディネーターニュース
- ⑫ ハイライトよねやま



国際ロータリー第 2560 地区
2024-25 年度

南雲ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574
ホテルイタリア軒 B1
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



「忙中閑あり」

2024-25 年度 ガバナー
南雲 博文 (長岡 RC)

ガバナーに就任しまして、はや半年になろうとしております。

公式訪問と地区大会が終わり一安心とともに、皆様にご支援をいただきましたことに、心から感謝を申し上げます。少しの安堵感とともに、今までの振り返りと周りを少し見る時間ができて来ました。忙中閑あり、表紙写真は長岡クラブの高野地区副幹事の写真展を観にいった時のものです。他にも長岡市展、新潟芸展も観ることができました。

11月までは、ハイテンションというか、ある意味自分からそうしないとガバナーという役目が果たせないのではと思って、自分ではない自分がいたと思います。

公式訪問は今までと違った合同訪問をお願いしました。RI 会長アーチック氏は50年間同じことをしていたら変える時期に来ていると言っております。私はロータリーも過渡期ではないか感じております。人口減少、気象変動、災害、パンデミックが現実化しています。もしかすると平和についてもっと考える時期に来ているかもしれません。

ロータリーも変わって来ていると思います。この合同公式訪問も小さな変化かもしれませんが、皆様に感じてもらい考えていただきたいと思います。もはや単年度方式では変化に対応できないと思います。まさに RI が提唱している3年計画をもとに継続性が逆に大きな変革への力になるはずです。合同公式訪問のアンケートで、85%は賛成で、無回答が11%、反対は4%で2クラブでした。賛成が大半ですから形を変えても合同公式訪問を是非継続していただきたいと思います。地区大会も実行委員会、ホスト・コホストクラブ、地区役員方の素晴らしい企画と運営で大成功な大会でした。更に RI 会長代理として台湾の邱文麗さんをお迎えしたことで国際的な先見性を感じた、明るいしかも格調高い大会となり、私も満足と安堵感で皆様に御礼を申し上げたいと思います。

いよいよ後半に向かっていきます。まだまだ活動を考えなければならないと思っております。一番の課題は会員増強の目標の達成です。10月末で54名の純増になっておりますが、6月に毎年かなり減少しますので、あと7か月是非頑張りたいと思います。各クラブの会員増強委員長にご期待申し上げます！



2024-25 年度第 1 回 米山記念奨学委員長セミナー報告

米山記念奨学委員会
寄付増進委員長

石黒 良行 (三条 RC)

地区ロータリアンの皆様には日頃より米山記念奨学委員会の活動にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、10月5日（土）にホテルイタリア軒にて各 RC の会長、米山記念奨学委員長を対象に2024-25 年度第 1 回米山記念奨学委員長セミナーを開催いたしました。

はじめに、奨学生の体験発表としてガン、ゼン テンさん（マレーシア）、李 亨洋さん（リ コウヨウ、中国）より、米山記念奨学生に選ばれた際の心境や世話クラブとカウンセラーへの感謝、日本の文化について感じたことをお話ししていただきました。

続いて、私より「米山奨学事業の成果と寄付増進について」と題して寄付金の状況や 2560 地区の学友会活動、外国にある学友会の活動を説明させていただきました。

その後、「奨学生としての経験と感謝」の演題で米山学友の周 燕妮さん（シュウ エンジ、中国）より講演していただきました。米山記念奨学生に選ばれ奨学金を得ることで、アルバイトをする必要がなくなり研究にもっと時間を費やすことができたことや、ロータリーの期待を裏切らないように成果を実現した話をしていただきました。周さんの研究成果は国際学会で賞を受賞し来年の大阪万博で展示される予定とのことでした。

最後に、各 RC の会長、米山記念奨学委員長が各テーブル 7～8 名でグループディスカッションと発表を行いました。分区の括りなく会長、米山記念奨学委員長が意見を出し合うことで、他の RC の活動を知ることができたと思います。各 RC の活動に繋がっていただければ幸いです。





第 2560 地区 2024-25 年度 地区大会の報告

地区大会実行委員長

笠原 廣 (長岡 RC)

2024-25 年度国際ロータリー第 2560 地区 地区大会は、RI 会長代理の邸 文麗様と第 3480 地区 パストガバナー邸 秋林様をお迎えし、10 月 19 日～20 日の二日間にかけて長岡市の〔長岡グランドホテル (19 日)〕と〔アオーレ長岡 (20 日)〕で実施いたしました。

第一日目の【地区指導者育成セミナー】では、「クラブを活性化するために」というテーマで RI 第 1 地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐である田中 久夫様 (RI 第 2840 地区パストガバナー) から、『ロータリーの魅力』についてご講演をいただき、「クラブ内の居心地」方程式、「お釈迦様の教え」や「孔子の教え」など、決して“老太狸暗” (ロータリアンと読む) にならないようにとの貴重で興味深いお話を拝聴いたしました。

その後、モンゴル米山学友会のツェレンミンジン ベレンレイ様とヒシグトグトフ エンフジン様から、モンゴルに於ける「学友会活動報告」を行っていただき、正に米山奨学委員会の目的である『米山奨学生が母国に戻って、日本との懸け橋になる』ということの事例発表を行っていただきました。グローバル補助金を活用し、国際的なロータリー活動を対象にした“これからの米山奨学生の道筋”を示してくれたと思います。

そして【RI 会長代理歓迎晩餐会】では、地元長岡市出身の入船亭扇辰師匠による落語で、江戸時代から続く“伝統的話芸”と“世界で一番短い小噺”などを披露していただき、会場を和ませていただきました。

第二日目の【本会議】では、RI 会長代理の邸 文麗様より「ロータリーの未来は、私たちの手の中に」というテーマでご教示いただき、それぞれのクラブに於けるシニア会員の貴重さを強調されていたことは、持続可能なロータリークラブの指標を示唆されているようにも感じました。その後、恒例の《大会委員会報告》及び《各種表彰》並びに《各委員会報告》が滞りなく行われ、記念講演では、佐渡市の名誉市民でもあり文化功労者の宮田 亮平先生から『夢を探そう!!』という演題で、今もなお金属工芸家としての作品に懸ける熱い思いを拝聴いたしました。その後の【親睦交流会】のアトラクションに於ける《書道パフォーマンス》と《勇壮な悠久太鼓の演奏》の共演による“舞台”を鑑賞し、古くからの日本文化と伝統の一端に触れるとともに、地区テーマである『ロータリーはステージ・みんなが輝く!』を、南雲ガバナー自らが率先してステージ (舞台) を輝かせていただきました。









地元イベントでポリオプラスの 募金活動

三条東ロータリークラブ
会長
大竹 賢一

11月3日に三條市恒例のイベント、三條マルシェが開催されました。

三条東ロータリークラブは初めてこのイベントに出店し、ポリオプラスの啓発と募金活動を実施しました。

お揃いのTシャツを着て、準備した風船とチラシを配りながら募金の協力を呼びかけました。募金総額は18,320円でした。協力してくれるのは小さい子供達が多く、おそらく一緒の家族に促されてだとは思いますが、小さい手から募金箱に入れてくれる10円、100円が、とても貴重で嬉しく感じられました。

それから大切なことは、一人でも多くの市民の皆さんにポリオについて興味を持っていただくことです。配布したチラシを受け取ってもそのままゴミ箱に捨てる人も多いと思いますが、なんだろう？と思って中身を見てくれた人がいるはずですよ。

日本では既に馴染みのない感染症ですが、まだ予防接種は続いていること、子供が発症すると命を落とすか、重い後遺症が残ること、ロータリーをはじめ、多くの団体、政府が根絶に頑張っていることなど、一人でも理解してもらえたら大成功です。

初めての試みでしたので反省点もありました。

思ったよりブースが狭くて、用意した掲示物が効果的に使用できなかったことや募金箱を用意するのを忘れていたとか、いろいろありましたがみんなで工夫して乗り切ることができたので、次回に活かそうと思います。

ポリオプラスはクラブの奉仕活動としては取り組みやすく、公共イメージの向上にも役に立つので、みなさんも取り組まれてはいかがでしょうか？



「楽楽いきいきドライブ」 同行記

社会奉仕委員会

委員長

青木 省一 (長岡西 RC)

プロジェクト名 : 「楽楽いきいきドライブ」 加茂ロータリークラブ主催 ※地区補助金利用事業

プロジェクト概要 : 引きこもりがちな独居のご老人を一日ドライブにお誘いし、交流を深め明るく元気な生活を送っていただく

【行程】 2024年11月3日(日)

9:00 加茂山公園出発 →^{北陸道} 栄PA →^{北陸・関越道} 山谷PA →^{北陸道} 小千谷IC

11:30

→ 小千谷サンプラザ・錦鯉の里 → 山古志「おらたる」 → 小千谷IC
見学・昼食・お買物 復興交流館

→ 山谷PA → 中之島見附IC → 「ただいまーと」 → 加茂山公園
お買物 16:00着

11月3日(日)、朝8:00に加茂ロータリアン12名集合。

朝礼でスタート。霜出会長の挨拶・三浦社会奉仕委員長の説明があり、その後参加者33名が随時集まってくる。参加者は地域の民生委員の方がこの催事のご案内をして、加茂市社会福祉協議会で取りまとめた紳士淑女。33人のうち男性は1~2名。年齢は80歳前後か(聞いてはいないが……)。私は2台目のバス最後部4人掛にお姉さん方3人に挟まれて着座し出発。

三条燕インターから高速道へ。全てのパーキングに立ち寄り小千谷インターまで。

錦鯉の里では係員から案内を受け、その後向かいの小千谷サンプラザで昼食。午後は山古志「おらたる」復興交流館・木籠地区(水没家屋跡)へとドライブ。

帰りは中之島見附インターで高速道を降り、JA「ただいまーと」に寄り、自宅の夕食用?お惣菜・土産などを買って加茂に帰る。

車内では「白内障の手術の様子」「我家の柿の木の猿の話」などなど楽しい話をアメ玉（たくさん持参されたお姉様から頂く）を舐めながらお聞きしました。皆様たいへんお元気で、今までも加茂ロータリークラブが行っている催し物に参加していて、今回も楽しい一日を過ごされていました。



ガバナー公式訪問報告

分水 RC	会長 氏田 万有子	幹事 平原 美香
燕 RC	会長 藤崎 滋人	幹事 齋藤 貴介
吉田 RC	会長 大谷 直文	幹事 橋本 照子
巻 RC	会長 大坪 収	幹事 本間 聡人

会場： 燕三条ワシントンホテル

2024年10月10日、上記4クラブ合同のガバナー公式訪問が開催されました。

例会前には、南雲ガバナー、中村筆頭副幹事、高野副幹事をお迎えし、第4分区杉山ガバナー補佐の司会で懇談会を行いました。各クラブの会長、幹事、次期会長、次期幹事が参加し、各クラブの強みや会員増強のアイデア、連携して取り組みたいこと、困りごとや相談ごとなどをクラブごとに発表しました。それぞれの現況を知り、共有できたことは大変有意義な時間となりました。初めて知ることも多く、新たな発見がありました。それに対し、ガバナーから各クラブへのアドバイスをいただき、会員数と元気度の分析に関するわかりやすい資料もいただきました。また、今回の合同公式訪問の意義を

丁寧に再度お伝えいただいたことも良かったです。

例会では、藤崎滋人会長が代表挨拶をされ、合同公式訪問の取り組みを通して向かうべき方向について力強くお話しされました。この4クラブは観桜会やゴルフコンペなどでお互いを知る会員も多く、引き続き各クラブ同士の交流を深めたいと改めて感じました。

南雲ガバナーのご講話では、さまざまなキーワードがありましたが、ご自身がロータリーで一番大切にしているのは「高潔」とおっしゃったことが印象に残っております。今後も、それぞれのステージで輝けるよう、ロータリーの奉仕活動を進めたいと思いますので、引き続きご指導よろしくお願い申し上げます。当日は皆様お越しいただきありがとうございました。

分水 RC 会長 氏田 万有子



新津 RC 会長 横山 英男 幹事 小柳 陽一

会場： 割烹 榊形屋

2024年10月16日、南雲ガバナーをお迎えして公式訪問が行われました。当クラブは、かつては60名程の会員がおりましたが、2000年頃から会員が減少し始め、現在は、15名となっており、会員増強に苦しんでおります。例会前の会長幹事・次年度会長幹事との懇談会では、南雲ガバナーから会員増強のヒントをいただき、会員20名を目指すよう発破をかけ

ていただきました。例会での講話は、南雲ガバナーの会社の創業者の話、国際協議会の話、地区方針の説明、ロータリアンに求めるものなど、盛りだくさんの内容で、南雲ガバナーの人となりの一端を拝見させていただき、とても親しみの持てる方とお見受けいたしました。南雲ガバナー、本当にありがとうございました。

新津 RC 会長 横山 英男



村上 RC	会長 佐藤 学	幹事 伴田 宏
村上岩船 RC	会長 忠 裕栄	幹事 齋藤 康江

会場：大観荘 せなみの湯

10月24日南雲ガバナー、第一分区風間ガバナー補佐、阿部地区幹事、土田地区副幹事をお迎えして、2クラブ合同の公式訪問を開催しました。

午前10時半より、2クラブの会長、幹事、会長エレクト、副幹事の出席で、懇談会を開催していただきました。各クラブの現状報告の中から、問題点や悩みなどをお汲み取りいただき、南雲ガバナーや地区役員の皆様から、他クラブの取り組みなどもご紹介いただきながらアドバイスいただきました。また、2クラブとも女性会員が20%を超え、女子会を定期的で開催するなど、クラブ運営が華やかになる女性会員の活躍を評価していただきました。

昼食を挟み、例会を開会しました。村上 RC 会長の点鐘か

ら、会長挨拶、幹事報告、出席報告、ニコニコBOXと続き、例会後半の南雲ガバナーの講話では、プロフィール紹介の流れから、仕事の関係でロータリークラブ入会の経緯、信条にされている事などお聞きし、とても身近に感じられる存在となりました。国際ロータリーのアーチック会長のテーマ方針から、南雲ガバナーの地区方針を、ガバナーの生の声でクラブ会員がお聞きする事が出来たことは、とても有意義な事と感じました。

後半の会員増強のポイントは、とても参考になるものでした。最後に、「ロータリアンの神髄とは【高潔さ】である。」この言葉をいただき講話が終了。村上岩船 RC 会長の点鐘で閉会となりました。とても勉強になり、親睦を深める事が出来ました。南雲ガバナーと地区役員の皆様に心より感謝申し上げます。

村上 RC 会長 佐藤 学





室賀年度クラブ会長幹事ラーニング開催のご報告

地区ラーニング委員会
委員

早川 滝徳 (三条 RC)

皆さまには日頃より地区ラーニング委員会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、去る 11 月 2 日（土）にホテルイタリア軒にて、第 2560 地区の次年度会長・幹事の皆様にお集まりいただき、室賀年度クラブ会長幹事ラーニングを開催いたしました。当日は、室賀ガバナーエレクトをはじめとした地区役員 21 名と、会長エレクト及び次年度幹事の皆様 74 名の参加をいただき開催いたしました。3 連休初日の大変お忙しい中、多くの方々からご参加いただいたこと感謝いたします。

昨年に続いての第 2 回目となる会長幹事ラーニングですが、後日行われます PETS 前に、会長・幹事としての役割、心構えを再確認し、クラブ運営をスムーズに取り組めるようになることを目的としています。また各分区のガバナー補佐を中心に同じ分区の会長幹事の皆様との情報共有がスムーズに行えるように設営をさせていただいています。

本ラーニングは、2 部構成にて実施いたしました。

まず第 1 部は「クラブ会長のガイドライン」と題して、高橋秀樹地区ラーニングファシリテーターはじめ、各担当ファシリテーターである関川博副委員長と西方チームリーダーとボーイド原富美子チームサブリーダーがロータリーの基本の確認、クラブ目標、運営年間スケジュール、先日のガバナー補佐ラーニングの内容報告、三年計画の件、マイロータリーとラーニングセンターの活用等を説明させていただきました。担当ファシリテーターの皆さんも 2 年目ということもあり、かなり余裕をもって話をされていたと感じます。ラーニング委員会メンバーも日々勉強させていただいています。

第 2 部は「ガバナー補佐と語ろう」と題して、各分区ごとに分かれて行われました。それぞれの各分区の次年度ガバナー補佐を中心に自己紹介、クラブ協議会、MakeUp をどう進めるか、情報共有をどうするかといった内容で進みましたが、この早い時期に各分区で顔合わせができたということは今後の各分区の取り組みでも有意義であったかと感じます。

ラーニングの後は懇親会が開催され、それぞれの分区の会長・幹事の皆様とガバナーエレクト、ガバナー補佐の皆さんが交流できたかと思えます。

大変お忙しい中、長丁場のラーニング開催ではございましたが、皆様にとって有意義な会であれば幸いです。参加された皆様大変ありがとうございました。心より感謝申し上げます。



「世界でよいことをしよう」 財団委員会通信

地区大会におけるポリオ根絶活動支援への御礼

ロータリー財団委員会 寄付・資金・ポリオプラス委員会 委員長
土田 正憲(長岡 RC)

10月19日(土)・20日(日)に長岡市内にて開催された、国際ロータリー第2560地区2024-25年度地区大会において、ポリオ根絶活動のご理解とご協力を目的にブースを出展しました。お陰様でたくさんの方々から関心を寄せていただきご寄付を賜りました。厚く御礼申し上げます。2日間で皆さまからお預かりしたご寄付111,031円は、10月21日に地区からロータリー財団にポリオプラス寄付として送金いたしました。

ポリオの根絶は35年以上にわたってロータリー会員が力を注いでいる活動です。活動以来、世界の発症数は99.9%減っていますが、まだ根絶されていません。現在の常在国はパキスタンとアフガニスタンの2か国です。ロータリーは目標を実現するまで決してあきらめません。

ロータリーが世界の子どもたちと約束したポリオのない世界まで「あと少し!」。これからもポリオ根絶のために取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



第 2560 地区 2024-25 年度 10 月末 会員数報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2024年 7月1日	10月末 会員数	うち女性	増減
第1分区 (9クラブ)	△	-	377	385	43	8
新発田	3	31.1%	87	90	1	3
村上	4	20.0%	38	40	9	2
水原	3	26.5%	33	34	2	1
中条	4	100.0%	49	50	3	1
新発田城南	4	23.1%	39	39	5	0
豊栄	2	26.1%	23	23	2	0
新発田中央	5	9.1%	43	44	6	1
中条胎内	4	48.7%	39	39	9	0
村上岩船	3	30.8%	26	26	6	0
第2分区 (9クラブ)	△	-	447	455	30	8
新潟	5	32.1%	78	81	3	3
新潟東	4	17.5%	62	63	7	1
新潟南	5	36.2%	113	115	8	2
佐渡	1	75.0%	4	4	0	0
新潟西	4	37.0%	52	54	3	2
佐渡南	5	12.8%	38	39	3	1
新潟北	3	32.4%	37	37	1	0
新潟中央	3	34.8%	23	23	0	0
新潟万代	4	55.0%	40	39	5	-1
第3分区 (5クラブ)	△	-	94	96	8	2
新津	4	33.3%	15	15	1	0
村松	4	52.9%	15	17	1	2
白根	5	27.3%	31	33	2	2
新津中央	4	37.0%	27	26	4	-1
阿賀野川ライン	3	0.0%	6	5	0	-1
第4分区 (11クラブ)	△	-	354	361	30	7
三条	5	12.5%	54	56	0	2
燕	3	7.0%	42	43	3	1
加茂	3	10.0%	29	30	4	1
三条南	4	23.1%	37	38	3	1
分水	4	70.0%	30	30	4	0
見附	3	5.0%	20	20	1	0
吉田	4	4.0%	24	25	3	1
三条北	5	13.2%	52	53	4	1
巻	3	7.7%	26	26	2	0
田上あじさい	4	16.7%	6	6	2	0
三条東	3	20.6%	34	34	4	0

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2024年 7月1日	10月末 会員数	うち女性	増減
第5分区 (7クラブ)	△	-	297	301	30	3
長岡	4	65.3%	47	49	5	2
柏崎	4	2.2%	45	46	0	0
長岡東	4	26.7%	60	60	9	0
柏崎東	3	19.5%	41	41	2	0
栃尾	4	19.0%	20	21	1	1
長岡西	5	20.4%	49	49	3	0
柏崎中央	3	28.6%	35	35	10	0
第6分区 (6クラブ)	△	-	114	123	11	9
十日町	3	25.0%	28	36	7	8
小千谷	3	14.8%	27	27	2	0
雪国魚沼	4	19.2%	26	26	2	0
十日町北	2	0.0%	10	11	0	1
津南	3	28.6%	15	15	0	0
越後魚沼	4	25.0%	8	8	0	0
第7分区 (7クラブ)	△	-	303	317	24	14
高田	3	36.2%	67	69	4	2
直江津	4	35.1%	72	74	6	2
新井妙高	4	16.2%	34	37	1	3
糸魚川	4	90.7%	43	45	4	2
高田東	3	54.3%	33	35	2	2
糸魚川中央	4	48.3%	26	29	2	3
越後春日山	4	81.5%	28	28	5	0

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,986 人
10月末会員数	2,038 人
女性会員数	176 人
純増減会員数	52 人
My Rotaryアカウント登録率	30.5 %

地区主要行事予定

2024年11月20日現在

年	月	日	行 事	会 場	
2024年 (R6) 南雲年度	12月	疾病予防と治療月間			
		1	(日)	全国青少年交換委員長会議	AP日本橋+ZOOM
		2	(月)	全国次期米山記念奨学委員長対象第1回セミナー	東京グランドホテル
		7	(土)	第1回派遣学生オリエンテーション・クリスマスパーティー	長岡グランドホテル
		12	(木)	ロータリー財団地域セミナー	パシフィコ横浜、 横浜ロイヤルパークホテル他
		13	(金)	第2回ガバナー会議	パシフィコ横浜、 横浜ロイヤルパークホテル他
		13	(金)	RI会長ご夫妻・TRF管理委員長歓迎晩餐会	パシフィコ横浜、 横浜ロイヤルパークホテル他
		13	(金)	メジャードナー午餐会	パシフィコ横浜、 横浜ロイヤルパークホテル他
		13	(金)	ガバナー・ノミニニー・ラーニング・セミナー (GNLS)	パシフィコ横浜、 横浜ロイヤルパークホテル他
		13	(金)	第2回ガバナーエレクト・ラーニング・セミナー (GELS #2)	パシフィコ横浜、 横浜ロイヤルパークホテル他
		14~15	(土~日)	第53回ロータリー研究会	パシフィコ横浜、 横浜ロイヤルパークホテル他
		15	(日)	インターアクト献血奉仕活動(高田東RC)	上越市
		22	(日)	第2回地区リーダー向けセミナー(危機管理)	AP日本橋+ZOOM
		22	(日)	インターアクト献血奉仕活動(新潟東RC)	新潟市
※地区事務所・南雲G事務所・室賀GE事務所は、12/28(土)から1/5(日)まで年末年始休暇です。					
職業奉仕月間					
2025年 (R7) 南雲年度	1月	18	(土)	2025学年度米山記念奨学生選考会	万代シルバーホテル
		25	(土)	三年度三役会議・第1回地区運営会議・地区諮問委員会・室賀GE渡米壮行会	ホテルオークラ新潟
		26	(日)	第8回ローターアクト合同会議	AP日本橋+ZOOM

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
佐渡南	中野 佳	2024.10.01	共栄建設工業株式会社	代表取締役	港湾建設



第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 中里 公造（川口モーニング RC）

- 1.例会で点鐘するのは規則でしょうか？
- 2.例会で会長挨拶はしないといけないの？
- 3.例会は1時間と決まっているの？
- 4.ロータリー年度は何故7月に始まって6月に終わるのでしょうか。新会員に尋ねられたとききちんと説明できますか？

次年度のガバナー補佐の皆さんへの問い掛けです。昨年度からロータリーの研修方法が従来のトレーニングから参加者が中心となるラーニングに変更になったことを踏まえた質問でした。参加者の次年度ガバナー補佐の皆さんに考えていただきながら自身で「学ぶ」を強調しました。それなりにロータリー経験のある皆さんでしたが、通常の研修と違い今さら聞けないと思われる質問に様々な意見が出て大いに盛り上がりました。



上記の1・2・3について、私が入会した当時先輩に尋ねたところ、「ロータリーの規則だよ」規則を読んでしっかり勉強しておくように。とだけ言われ「教えてください」と尋ねたところ回答は「勉強すれば今に分かるよ」とだけであったことを今でもよく覚えています。

しかし、手続要覧を見てもクラブ定款にもクラブ細則にも一言も記載はありませんでした。例会で点鐘をするということはロータリーの規則としてはどこを探しても見当たりません。

会長挨拶も同じですし、挨拶をしないクラブもあります。また、クラブ会長の役割の最初には「会長は例会の司会を務める」となっています。

私が入会した当時は今のようにネット環境もなく、ロータリーについて学ぶには大変でした。そんな中先輩から教えていただくということが、貴重な情報源であったように思います。例会時間はクラブ細則で決めるものですが、1時間というのはロータリーの規則だ、といまだに信じている方が少なくありません。それも歴の古いロータリアンにその傾向が多いように感じます。

現在 MY ROTARY のラーニングセンターには、ロータリーに関する様々な立場の人が学ぶ資料が用意されています。クラブレベルは元よりや地区レベルでも出来ないことがラーニングセンターにはあります。

私たちは RI に高い会費(人頭分担金)を支払っていますが、一度でもラーニングセンターでの学びを体験した人は凄いとされるに違いありません。それだけのものが用意されています。但し、何人の方がラーニングセンターの資料を使って学びを体験されたでしょうか？残念ながら非常に少ないというのが私の印象です。

ラーニングセンターを活用することにより、それぞれの役職に於いて新しいスキルを学びロータリーの新たな知識を身に付け、ロータリーの更なる高みを目指しましょう。



第2地域 カルガリー国際大会 日本推進チームメンバー 樋口 明（神奈川 RC）

カルガリーへの誘い「GOING TO MOH' KINSTSIS」モーキンスツイスへ！

2025年6月21日から25日まで、カナダのカルガリーで開催されます国際大会について、「ロータリーの友10月号」で10頁にわたって特集が組まれております。

ゲール語で「輝く水」を意味する「カルガリー」の歴史、風土、街並み、味覚、娯楽と読み進むにつれて、いつの間にか「世界で最も友好的な街」に舞い降りた気持ちになりました。まだお読みになっておられない方は是非ご一読いただき、カルガリーで最高に楽しんでいるイメージを目一杯膨らませましょう！



「日本人親善朝食会」(6月22日朝)の会場がハイアット リージェンシー カルガリーに決まりました。異国の美しい街での日本のロータリー会員同士の交流は、一際親近感が湧く格別なものです。詳細につきましては、後日ご案内いたしますので、是非ご参加ください。

「カルガリーハット」を被って、大いに盛り上がりましょう！

現在、深尾兼好第3地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐にご協力いただき、「カルガリーハット」を製作中です。昨年度のシンガポール国際大会でも感じましたが、国際大会の開会セッションの各国紹介では、例年我々日本チームは他国勢の勢いに圧倒されてしり込みしていると思いませんか？カルガリーでは、お揃いのハットを被ってTEAM JAPANの心意気を見せましょう。また、国際大会への参加者推進にもご活用くださいますようお願い申し上げます。詳細につきましては、12月の「第53回ロータリー研究会」でご説明いたします。



皆様、登録はお済みでしょうか？

登録料の早期割引料金(\$525)は12月15日までです。

その後は、2025年3月31日までは\$625、4月1日以降は\$695 になりますので、是非、お早めにご登録ください。

日本推進チームメンバーが、皆様のお手伝いをいたします。

国際大会に関するご相談、ご質問がございましたら、どうぞ遠慮なさらずいつでもご連絡ください。よろしくお願い申し上げます。

第1地域 伊藤三之(山形北RC) lawyer-i@js7.so-net.ne.jp

第2地域 樋口 明(神奈川RC) higutikk@violin.ocn.ne.jp

第3地域 安行英文(三田RC) mayfairchelsea@icloud.com

添付でお送りしたカルガリー国際大会のチラシもご覧ください。



公共イメージについて

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 丸尾 研一（神戸西神 RC）

RIは行動計画の中に「参加者の基盤を広げる」がありますが、まずはロータリーの認知度を高めなくてはならないと思いますが特効薬はありません。先ず一人ひとりのロータリー会員がロータリーの会合に行くときだけではなく、いつもロータリーバッジを身につける、奉仕活動、イベント等でロータリーグッズを身につける、車にポリオのステッカーを貼る、そしてもっとも大切なのは、ロータリー会員一人ひとりが強力な広報マンであり、一人ひとりが情報を発信することです。私たちはロータリーについて説明するために、いろいろ情報を入手し、適切に説明できなければなりません。私たちがロータリーで経験した感動的な体験について話すことも大切です。普段からコツコツとロータリー会員とクラブが、地道に奉仕活動を続け、認知してもらい、好意をもってもらい、そして今後に期待してもらい、この繰り返しがロータリーブランドの向上に繋がるものと確信しております。



ロータリークラブができたのは、1905年2月23日ですので誕生してから来年で120年になります。ではいつ頃クラブができたのか史書を紐解いていくと、シェイクスピアが出てくる16世紀、彼は劇作家としてロンドンっ子の注目を一身に集めていたテムズ河畔にあった煉瓦造りのホテル「マーメイド・ターバン」のレストランがシェイクスピアの行きつけとわかったと、多くの人がそこに集まりはじめた。シェイクスピアは、自身で役者をつとめたこともあって声が大きく、朗々と愉快地にしゃべる男だったので、彼が店にいることは一目瞭然だった、すると演劇愛好者をはじめ、ついには一杯の酒にありつきたい浮浪者までがテーブルを取り囲み、收拾のつかない騒ぎとなった。「このままでは、親しい友人とゆっくり話し合うこともできない。奥の部屋を借りて、決められた顔ぶれだけで集まるようにしようじゃないか」シェイクスピアの発案によってここにクラブ誕生する。定義が残っています。

「共通の趣味を持つ者が、親しく会合して研鑽をはかり、さらに親睦を深める」。どこか似ていませんか、1592年のことです。それまでも政党的なものはありませんでしたが、本当の意味でのクラブは「マーメイド・ターバン」の奥の部屋でシェイクスピアによって生み出されたと考えられる。その時の顔ぶれを見ると、劇作家、流行作家、探検家、ギリシャ研究者、詩人、当時のロンドンの代表的知識人が集まっていた。どんな議論がでたのか想像するだけで楽しいものです。



カルガリー国際大会

21-25 JUNE 2025 • CALGARY, CANADA

convention.rotary.org



2025年6月21日 ~25日

6月22日 (日)

日本人朝食会
ハイアットリージェンシー
開会セッション

6月25日 (水)

閉会セッション

【会場】

本会議

Scotiabank Saddledome

友愛の家、分科会他

BMO Centre

【登録】

My Rotaryの国際大会の
「登録」からオンラインで
行なってください。

\$525

2024年5月30日

~2024年12月15日

\$625

2024年12月16日

~2025年3月31日

\$695

2025年4月1日

~2025年6月25日

※30歳以下、会員以外等は
登録料が異なります。
その他、チケット制のイベント
につきましては、MyRotaryで
ご確認ください。



カルガリーは、カナダ西部
のアルバータ州にある同州
最大で北米有数の世界都市



***ご質問、ご相談はこちらまで！**

2025カルガリー国際大会

RI 推進チームメンバー兼 推進コーディネーター
服部 陽子(RID2750 東京広尾RC)

hattori@ychem.co.jp

日本推進チーム

第1地域担当 伊藤 三之(RID2800 山形北RC)

lawyer-i@js7.so-net.ne.jp

第2地域担当 樋口 明(RID2590 神奈川RC)

higutikk@violin.ocn.ne.jp

第3地域担当 安行 英文(RID2680 三田RC)

mayfairchelsea@icloud.com





1 5年ぶりの韓日親善会議で韓国学友会がアピール

10月24日、第16回ロータリー韓日親善会議がソウル市内にて開催され、約800人が参加しました。実に5年ぶりの開催となった今回、韓国米山学友会が初めてブースを出展し、7人の米山学友が出席。本会議では、朴在泳^{パクジェウォン}会長(1995-97/仙台泉RC)が日韓のロータリー会員に向けてスピーチを行い、米山記念奨学事業と韓国米山学友会について紹介しました。また、同学友会の黄^{ファン}セミさん(2001-02/東京南RC)が会場内の同時通訳を担当しました。

同学友会がブースを出展したのは、数カ月前に学友会について知った、という韓国ロータリー韓日親善委員会の朴鍾健^{パクジョンガン}副委員長から出展依頼があったことがきっかけ。韓国では、韓国米山学友会の存在や、現地日本人留学生への奨



本会議でスピーチする朴在泳会長

学金支給といった同学友会の活動を知る人はかなり少ないそうで、朴副委員長は「素晴らしい活動ですし、私たちロータリーが目指す姿にふさわしいと感じ、ぜひこの機会に多くの方に知ってほしいと思い依頼しました」と、韓国のロータリー会員へのアピールに期待を寄せました。

まずは知ってもらうための第一歩を踏み出した今回、朴会長のスピーチを聞いた韓国のロータリー会員からは、「初めて知ったが、素晴らしい活動」「今後何らかの支援ができれば」といった声が上がりました。朴会長は「少しでも多くの方に知ってもらうため、韓国ロータリーと積極的に連携していきたい」と、意気込みを語りました。



2 2025学年度奨学金申し込み状況

10月15日に締め切りを迎えた2025学年度のロータリー米山記念奨学金(学部・修士・博士/地区奨励)には、指定校586キャンパス(地区を超えた指定校の重複含む。前年度563キャンパス)から1,206人(1,202人)が推薦されました。被推薦者の国・地域は、中国51.4%(52.1%)、ベトナム11.9%(13.8%)、韓国9.3%(10.3%)、ネパール3.6%(2.5%)、次い

で台湾、インドネシアの順となっています。課程別の応募状況は、博士課程17.6%(19.2%)、修士課程37.6%(34.3%)、学部課程41.5%(43.2%)となっており、2019年度以降、学部生の申込みが最も多い傾向にあります。なお、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、7地区17校から計39人の応募がありました。

もうすぐ締切

普通寄付金 申告用領収書の申請は11月末まで!

普通寄付金分の確定申告用領収証の申請期限は11月30日です。当会ホームページのメニュー、

寄付金について → 「普通寄付金：申告用領収書の申請はこちら」からお手続きください。

特別寄付金については来年1月下旬、自動的にクラブ経由で送付されますので申請は不要です。

3 寄付金速報 — 米山月間のご支援に感謝 —

前年同期比

- 12.2%

普 +0.2% 特 -18.9%

10月までの寄付金は前年同期と比べて12.2%減（普通寄付金：0.2%増、特別寄付金：18.9%減）、約7,400万円の減少となりました。10月分のみ

の単月寄付額としては、昨年度より約2,600万円増加し、1億7,000万円となりました。

ご協力いただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。今年も残り2カ月を切りました。引き続きご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

4 第2530地区初の「学友ナイト」開催

11月2日、国際ロータリー第2530地区（福島県）が地区大会の開催に合わせ、第1回目となる学友ナイトを開催しました。

郡山市内の会場には27人の米山奨学生・学友、同地区の早川敬介ガバナー、吉田喜一地区米山記念奨学委員長、当会学友委員会委員長の石黒秀司氏のほか、ロータリー会員や、青少年交換、ロータリー財団奨学生、ライラリ



アンといったロータリーの複数のプログラムの学友など、約70人が集いました。

参加した現役米山奨学生の林明輝さん（2024-25 / 二本松あだたらRC）は「新しい出会いがあり、

良い経験になりました。また次回も参加したいです」と述べました。歓談後はカラオケルームに移動し、学友たちが熱唱。初の学友ナイトは大いに盛り上がりました。

5 【訃報】ベトナム南学友会 ホーライフーン会長 逝去



ベトナム南米山学友会会長のホーライフーンさん（1973-75 / 桐生西RC）が10月16日にご逝去されました。76歳でした。

ホーライフーンさんは奨学期間終了後、日本の化学メーカーに37年間勤務し、その後同社のベトナム子会社を設立。定年退職後は、日本企業のベトナム進出の支援に尽力するなど、生涯を日本とベトナムとの懸け橋として捧げられました。

2023年に海外10番目の米山学友会となるベトナム南米山学友会を設立、初代会長としてその中心的役割を果たされました。また、学友会設立以前からホーチミンを拠点に学友グループを結成し、日本各地のロータリークラブと協働した奉仕活動を牽引し、多大な貢献をされました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、ホーライフーンさんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

米山学友の顔

よねやま親善大使をお招きください

第5代よねやま親善大使の3人が活動中です。活躍する米山学友の代表として、当事業のあらしや自身の活動、ロータリーと交流し、学んだ経験が人生においてどのように生かされているか等をお話します。地区大会や米山セミナー、奨学生のオリエンテーションや歓送会等でのスピーチに、ぜひお招きください。

詳細はこちら

